

防コミの歩き方



3.11 商店街の資機材を活用した津波避難訓練 (中央:神戸元町商店街)

神戸元町商店街が、昨年作成した「神戸元町商店街 地域おたすけガイド」の検証として、東日本大震災から5年になる3月11日に津波避難訓練をおこないました。

1.地域おたすけガイドとは?(経緯)

地域住民によるチェックリスト方式の災害初動対応計画です。地域住民が事前に策定し、災害時は参集順に優先すべき必要な任務を割り当て、被害の軽減につなげることを目的としています。

神戸元町商店街は同ガイドを平成27年10月に完成しました。特徴は①消火器を店舗前に出してから避難、②台車を店舗前に出してから避難し、消火や要援護者搬送の必要があれば他店舗や通行人も各資機材を使用可としたことです。それらの検証として訓練を実施しました。

2.参加者と概要

神戸元町商店街連合会、神戸市中央消

防団、兵庫県警生田警察署、神戸市危機管理室、神戸市中央消防署等の約50人が、商店街の放送設備と自動連動した防災行政無線の訓練津波警報により、標高約3mの神戸元町商店街から、標高約17mの花隈公園まで避難しました。

3.課題の抽出と今後の改善

4月に予定している振り返り会にて課題を抽出・改善し、実際の災害での犠牲者を一人でも減らせるよう取り組んでいきます。

(中央消防署消防防災課 大津暢人)



初期消火

災害時と同様、消火者はあらかじめ決めず、呼びかけに応じた他店舗や通行人が消火訓練。

於:神戸元町商店街(標高約3m)



台車で要援護者搬送

車いす1台、店舗の椅子をロープで結索した台車2台により、要援護者の避難支援搬送。



防災運営本部を設置

花隈公園に設置した運営本部に、初期消火および要援護者搬送の完了が報告された。

於:花隈公園(標高約17m)